

選択科目Ⅱ-1 公園

(1) 都市公園を整備する背景と意義

緑豊かな国土形成を回す上で、緑が持つ多様な機能を活かして生活環境づくりが重要になる。都市公園は、良好な都市景観の形成や防災の向上等に寄与する。加えて、生物多様性の確保や地域づくりの資する人々の空間活用等の役割も担う。また、近年は地球温暖化等の環境問題への関心が高まり、グリーンインフラとしての整備は、ヒートアイランド現象の抑制や浸水対策等、人々の生活に資する効果もある。人と都市環境が共存していく上で、重要な都市基盤でもある。

- ① 緑豊かな国土形成になぜ生活環境づくりが重要になるのですか（緑地や公園を整備すれば緑豊かになりますよ）。因果関係が分かりにくいです。
- ② 背景と意義なので、前半戦に背景、後半戦に意義の順で書くと良いと思います。現状は、意義→意義→背景→意義→意義になってますね。
- ③ 急にグリーンインフラの話になっています。公園の意義を説明するべきです。おそらくグリーンインフラとしての公園整備ということですかね。
- ④ 「都市環境」→「自然環境」ではありませんか。
 - ※ 背景としては、「コロナ禍を経験して、オープンスペースである公園の価値が見直された。」「グリーンインフラとして多面的な利用が求められている。」など、近年の社会背景を述べると良いと思います。
 - ※ 効果は、公園が持つそもそもの機能（レクリエーション、良好な都市環境の形成など）に加え、上記のような新たな捉え方によって求められる機能を意義として述べると良いと思います。

(2) 活用される場面

① 地域防災としての活用：地震時の後方支援拠点^⑤や火災時の市街地延焼を防ぐことができる。大雨時には雨水貯留による^⑥浸水被害の軽減効果もある。また、トンネルを設置し^⑦一時的な宿泊避難場所としての活用ができる。

- ⑤ この部分の述語はどこになるのでしょうか。「公園は地震時に後方支援拠点になる。」ですかね。
- ⑥ 言葉が足りないと思います。公園の効果ではなく、雨水貯留施設の効果になっています。

おそらく「公園内に雨水貯留施設を設置した場合」または「緑地の涵養効果（雨水浸透機能でも OK）により」が言いたいことではないでしょうか。

- ⑦ かまどベンチ、マンホールトイレの整備などを例示し、防災公園としての効果を説明した方がより良いと思います。

⑧ 公共空間としての活用：半身をリフレッシュするレクリエーション活動やウォーキング等の健康づくりの機会がある。また、ワークスペースの確保により、職住遊が近接した生活が実現できる。

- ⑧ 公園は公共空間であり、活用される場面として説明する内容ではないと思います。内容から察するに、アメニティー空間とかですかね。
- ⑨ 公園内にワーキングスペースを作るといえることですか、それとも、ベンチに腰掛けてリモートワークするということですか。飛躍していて、どのような状況なのか分かりません。

⑩ 子育て・教育としての活用：公園内に保育所を設置し、地域と一緒に子育てができる。また、自然と触れあえる環境を活かして体験型学習が実施できる。学校教育の補完が可能なことがある。この柔軟な活用により、ニューノーマルに対応したまちづくりを推進していくことができる。以上

- ⑩ これも飛躍しています。なぜ公園内に保育所を設置すると地域と一緒に子育てができるのか分かりません。公園内に保育所を設置して生まれる効果を書かないと状況が把握できません。
- ⑪ 誰が体験学習を実施するのですか。
- ⑫ 端的に表現しましょう。「学校教育の補完が可能となる」が良いと思います。
- ⑬ 突然出てきて、何がどう対応しているのか分かりません。まとめのような段落で、「ニューノーマルに対応したまちづくりをする」と述べたら、タイトルとマッチせず何が言いたいのか分からなくなります。